

目次



まえがき

2

第1章 7つの発明創造テクニク

9

テクニク① 「付加」による発明創造テクニク

.....

12

テクニク② 「組み合わせ」による発明創造テクニク

.....

16

テクニク③ 「変更」による発明創造テクニク

.....

19

テクニク④ 「置換」による発明創造テクニク

.....

23

テクニク⑤ 「分離」による発明創造テクニク

.....

26

テクニク⑥ 「削除」による発明創造テクニク

.....

30

テクニク⑦ 「適用」による発明創造テクニク

.....

33

3つの発明創造法

.....

36

第2章 実は身近に発明がある！

47

テクニク大公開（事例集）

.....

48

特技を活かした発明

.....

55



こんなものも発明
 発明をビジネスにつなげる方法

68 57

第3章 自分の発明を守るには？

73

なぜアイデアを特許で守る必要があるのか
 アイデアは出願するまで秘密に
 恋は盲目、発明も盲目
 出願する前に企業に話すとマネされる
 特許と意匠の違い
 起業前にビジネスのどこが特許可能かを確認すべき
 どの業界にも特許を活用するチャンスがある
 特許出願は出願して終わりではない
 アイデアを考えただけでは、発明はまだ完成していない
 ヒットする商材を生むための7つの知恵
 一般的な発明創造の流れ（二ステップ）
 課題の見つけ方
 見方を変えるといろいろな発明が生まれる

102 99 97 95 94 92 90 89 88 87 86 83 74

目次



あとがき
129
参考文献
127

発明はエンドレス 103
特許出願は事前に調査しても特許されるとは限らない 104
試作はいつ行ったらいいか 105
費用はいくらかかるか 107
アイデアの思いつきから権利化までの流れ 109
特許の活用方法 115

第4章 発明の種類

発明のカテゴリ 118
ビジネスに応じた発明のカテゴリ 122
カテゴリによる権利行使上の差 124
特許表示 125